



石川県済生会金沢病院 〒920-0353 金沢市赤土町二 13-6 TEL (076) 266-1060 FAX (076) 266-1070
E-mail saiseikh-s@saiseikaikanazawa.jp URL <http://www.saiseikaikanazawa.jp/>

ご挨拶—大阪・関西万博で見た希望のかたち

看護部長 笠谷 亜紀



このたび、4月1日付で石川県済生会金沢病院の看護部長を拝命しました笠谷亜紀です。

当院で看護師としての第一歩を踏み出して以来、長きにわたり多くの患者さん、そして多くの仲間と出会い、育てていただきました。当院初めての「生え抜きの看護部長」として、看護部を預かることとなり、身の引き締まる思いです。

私がこれまでの看護の中で大切にしてきたことは「思いやり」です。相手の立場に寄り添い、気持ちを汲み取り、自分の行動につなげること、それが看護の原点であり、職員をつなぐ大切な心だと感じています。

地域の皆様にとって、当院が「いつでも安心して相談できる病院」であり続けるよう、看護部一同、笑顔と誠実な姿勢で努めてまいります。また、これからの時代にふさわしい看護のあり方を見据え、若い世代の育成にも力を注いでまいります。

さて10月より、当院では「地域包括医療病棟」を新たに開設いたしました。この病棟は、主に高齢者の救急搬送等を速やかに受け入れ、安心して自宅や施設での生活に戻れるよう橋渡しをする場所です。医師、看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカー、管理栄養士など多職種が連携し、患者さんの生活に寄り添った支援を行っていきます。

地域包括医療病棟の開設により、地域の皆様が住み慣れた場所で安心して暮らし続けられるよう、当院としてもより一層の地域連携と支援体制の充実を図ってまいります。

ところで先日、大阪・関西万博が閉幕しました。私は開幕から、なんと12回も通いました。もはや「修行」レベルです。毎回新鮮な発見があり、まるで地球がひとつの家族になったような気持ちになりました。万博会場では、こんなに平和なのに世界では紛争や分断が日々報じられています。そのギャップに大きな違和感を覚えました。

それでも、私の中に残ったのは「人」の力です。万博のレガシーは「人」だと強く感じました。未来を信じて動き出す人の存在こそが、希望の源です。当院も未来を信じて職員一同、前に進んでいきます。

「病院機能評価」認定を取得しました

この度、済生会金沢病院は、病院機能評価の認定基準を達成し、令和7年8月22日付けで『一般病院2』『リハビリテーション病院』『緩和ケア病院』の認定証の交付を受けました。

病院機能評価とは、患者さんが安全で安心して医療を受けられるよう、(公益)財団法人日本医療機能評価機構の第三者が、その認定基準に達しているかどうかを審査する仕組みです。

当院は2004年の初回受審から一定の水準を満たした病院として認定されており、今回で5回目の認定となりました。

今後も、さらなる患者サービスの向上に努め、より質の高い医療の提供に取り組んでまいります。



一般病院2



緩和ケア病院



リハビリテーション病院

ほっこりサロン開催

毎年、緩和ケア病棟(3A病棟)では『ほっこりサロン』を開催しています。『ほっこりサロン』とは、旅立たれた患者さんのご家族をお招きし、大切な方を失うという同じ経験をされた方々やスタッフと思い出を語ったり、最近のご様子について伺ったりしながら、ひとときを過ごす会です。

今年は9月25日(木)と26日(金)に開催され、19名のご家族が参加されました。語らいの時間の他に、龍澤副院長と総務課 安田さんが「皆さんの大切な方が、きっと空から見守ってくださっていますよ」という想いをこめて、『見上げてごらん夜の星を』をアカペラで披露しました。

参加者からは「やさしくてあたたかい時間をありがとうございました。ココロほっこりさせていただきました」「色々お話できてうれしく思いました」「龍澤副院長の淹れるコーヒー美味しかったです」など、参加してよかったと温かい感想をたくさん頂きました。



『薬事功労者知事表彰式』 森戸薬剤部長が受賞



左: 石川県薬剤師会 中森会長

右: 馳 石川県知事

10月17日(金)、県庁にて『薬事功労者知事表彰式』が開催され、当院の森戸薬剤部長が団体役員功労者を受賞し、知事表彰されました。

森戸薬剤部長は、多年にわたり薬業界の指導育成に尽力し、石川県の薬事衛生の向上に多大に貢献したことが評価されました。

当院の職員が県民のために役立てたこと、長年の努力が評価されたことを嬉しく思うと同時に、知事表彰されたことを大変誇らしく思います。おめでとうございます！

世界糖尿病デーイベント 「カラダにイイコトはじめよう！」を開催しました

世界糖尿病デーである11月14日にあわせて、11月11日(火)、糖尿病の予防や治療を啓発するイベント『カラダにイイコトはじめよう！』を開催しました。

『公開講座』では、内分泌代謝内科の藤本医師、整形外科の山城医師、久保管理栄養士より、それぞれの専門分野の視点から糖尿病に関わる講演を行いました。

毎年人気の『フットケアコーナー』では足のトラブルチェックや処置等を行いました。靴の中敷き職人高浪さん(富山県義肢製作所)に来ていただき、靴の相談も受け付けました。

『血糖測定コーナー』では、測定した自分の数値がどのくらいなのか、また他の測定者の方々と比べるとどうなのか、数値をシールで表に貼り、一目で分かるようにしました。

『健康測定コーナー』では、BMI肥満度チェック、骨健康度測定の他に、今年初めてベジチェック(野菜摂取量測定器)を用意し、参加された方はどんな結果が出るかワクワクしながら測定していました。

『身体機能チェック』では、リハビリスタッフがロコモ度テスト(下肢筋力を調べる「立ち上がりテスト」、歩幅を調べる「2ステップテスト」)を行い、結果を見てアドバイスやその人に合ったパンフレットをお渡ししました。

楽しみながら多くのコーナーを回っていただけるよう『スタンプラリー』も実施し、スタンプ3つ以上で貰える健康応援セットをお渡ししました。全てのコーナーを回ってくださる方もおられ嬉しく思いました。

たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。糖尿病やご自身の健康について知り、考える機会になれば幸いです。



かなざわピンクリボンプロジェクト



当院は「かなざわピンクリボンプロジェクト」と協働しています。ピンクリボンをシンボルマークにし、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるプロジェクトです。

今がんの治療を受けている方、がんの治療を終えた方、そしてがんで亡くなられた方へ・・・今年もエントランスにてメッセージツリーを設置しました(10月31日まで)。

乳がんは、早期に発見できれば高い確率で治る病気です。これからも検診の大切さや予防意識を広めていければと思います。

なでしこ出前健康講座



済生会金沢病院では地域貢献の一環として出前健康講座を行っています。当院の医療スタッフが講師として、ご依頼をいただいた公民館・町内会等に出向き、「病気」や「ケガ」などに関する情報提供や、セルフケアに関するレクチャーをしています。

秋に行われた『脚力チェックとロコモ指導』の様子



本講座が当院と地域の方々との交流の場となり、さらに当院を身近に感じてもらうきっかけになればと思います。

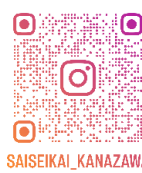


令和7年10月20日(月)～24日(金)、外来満足度調査を実施しました。回答数は327枚となりました。いただいた励ましのお言葉・ご意見は、職員の応対・設備等に役立ててまいります。

今後ともより多くの患者さんやそのご家族の方にご満足いただけるよう、サービス向上に努めてまいります。調査にご協力いただきました皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

済生会金沢病院のInstagramでは、イベントや研修会の様子などを発信しています。患者さんや地域の皆さんに、より身近に感じて頂ける情報を発信していきますので、ぜひいいね・フォローをお願いします♪

公式Instagram



SAISEIKAI_KANAZAWA

◇病院理念

『愛と希望と信頼の医療を職員協同で提供し、
地域に貢献する』

済生かなざわ 第149号 令和7年秋号

発行元：石川県済生会金沢病院

〒920-0353 金沢市赤土町二 13-6

TEL (076) 266-1060 (代表)

URL <http://www.saiseikaikanazawa.jp/>